

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月24日

計画の名称	津市安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	津市												
計画の目標	雨水管渠等の整備により浸水被害の軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。 南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、重要施設の耐震化等による防災、減災対策及び災害発生時の避難所等における衛生対策を講じ、地震に強い下水道施設の構築を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,678	A	8,643	B	0	C	35	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.4	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	都市浸水対策の達成率を45.6% (R2) から51.6% (R6) とする。 都市浸水対策達成率 都市浸水対策整備済み面積 (ha) / 都市浸水対策の整備対象区域面積 (ha)	46%	49%	52%
2	津市総合地震対策計画に基づくマンホール耐震化率を0% (R2) から100% (R6) とする。 重要な幹線のマンホール耐震化率 重要な幹線のうち、耐震化が行われているマンホール数 (基) / 津市総合地震対策計画 (R6) に基づくマンホール耐震化数 (基)	0%	70%	100%
3	災害用仮設便所（マンホールトイレ）が必要な避難所のうち、マンホールトイレが確保されている割合を46% (R2) から100% (R6) とする。 マンホールトイレが必要な避難所のマンホールトイレ確保率 マンホールトイレが必要な避難所へ設置したマンホールトイレ数 (基) / マンホールトイレが必要な避難所のマンホールトイレ計画数 (基)	46%	74%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-1 藤方第二排水区(雨水管)(浸水対策)	雨水管 3400 L=1200m、設計業務 N=1式	津市						2,117	-	
	A07-002	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-2 栗真町屋排水区(雨水管)(浸水対策)	雨水管 2000他 L=418m	津市						844	-	
	A07-003	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-3 橋内東部第二排水区(雨水管)(浸水対策)	水路2500×1400他 L=40m	津市						22	-	
	A07-004	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	新設	1-A1-4 半田川田排水区(ポンプ場)(浸水対策)	ポンプ設置 900 N=1台他	津市						1,017	-	
	A07-005	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-5 半田川田排水区(雨水管)(浸水対策)	雨水管 2600他 L=629m	津市						2,258	-	
	A07-006	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	新設	1-A1-6 天神排水区(ポンプ場)(浸水対策)	ポンプ設置 500 N=1台他	津市						1,039	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-7 天神排水区(雨水管)(浸水対策)	雨水管 2300×1500他 L=64 1m	津市						290	-	
	A07-008	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-8 野村第一排水区(雨水管)(浸水対策)	雨水管 800他 L=77m	津市							482	-
	A07-009	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-9 安濃川上流左岸第二排水区(雨水管)(浸水対策)	雨水管 1100他 L=402m	津市							227	-
	A07-010	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-10 中の川左岸第一排水区(雨水管)(浸水対策)	雨水管 1300他 L=182m	津市							89	-
	A07-011	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-11 浄化槽等転用補助金(浸水対策)	浄化槽等転用に係る補助275戸	津市							5	-
	A07-012	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(合流)	改築	1-A1-12 橋内第一排水区(合流管)(地震対策)	マンホール耐震化 N=13基、 基本計画 N=1式	津市							110	策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-013	下水道	一般	津市	直接	津市	-	新設	1-A1-13 災害用仮設便所 貯留管設置(地震対策)	マンホールトイレ 29基、設 計業務 N=1式、基本計画 N =1式	津市						61		策定済	
	A07-014	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-14 効率的な事業実 施のための基本的な計画 策定業務	業務委託 一式	津市							29		-
	A07-015	下水道	一般	津市	直接	津市	管渠(雨水)	新設	1-A1-15 浸水想定区域図 作成(雨水管)(浸水対 策)	業務委託 一式	津市							47		-
	A07-016	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	改築	1-A1-16 上浜排水区(ポ ンプ場)(浸水対策)	ポンプ設置 2000 N=1台他	津市							6		-
A07-017	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	改築	1-A1-17 新町第二排水区 (ポンプ場)(浸水対策)	ポンプ場改築実施設計 一式	津市							0		-	

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-018	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	改築	1-A1-18 香良洲排水区(ポンプ場)(浸水対策)	ポンプ場改築実施設計 一式	津市						0		-	
	A07-019	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	改築	1-A1-19 白塚新町排水区(ポンプ場)(浸水対策)	ポンプ場改築実施設計 一式	津市							0		-
	A07-020	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	改築	1-A1-20 中央処理区(ポンプ場)(浸水対策)	中央浄化センター改築実施設計 一式	津市							0		-
	A07-021	下水道	一般	津市	直接	津市	ポンプ場	改築	1-A1-21 阿漕排水区(ポンプ場)(浸水対策)	ポンプ場改築実施設計 一式	津市							0		-
												小計						8,643		
												合計						8,643		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
津市上下水道事業局下水道工務課にて事後評価を実施	令和8年3月
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水管渠等の整備により浸水被害の軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進した。 南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、重要施設の耐震化等による防災、減災対策及び災害発生時の避難所等における衛生対策を講じ、地震に強い下水道施設の構築を推進した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き雨水管渠等の整備により浸水被害の軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。 南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、重要施設の耐震化等による防災、減災対策及び災害発生時の避難所等における衛生対策を講じ、地震に強い下水道施設の構築を推進する。 上下水道耐震化計画に基づき、急所施設や重要施設に接続する下水道管路の耐震化を推進する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	都市浸水対策達成率		
	最終目標値	52%	他事業を優先する必要があるため、事業進捗が遅れたため
最終実績値	50%		
2	重要な幹線のマンホール耐震化率		
	最終目標値	100%	事業の継続性を確保するため、目標達成が見込まれた最終年度において次期計画で予定する対象基数を追加したため
最終実績値	15%		
3	マンホールトイレが必要な避難所のマンホールトイレ確保率		
	最終目標値	100%	事業の継続性を確保するため、目標達成が見込まれた最終年度において次期計画で予定する対象基数を追加したため
最終実績値	98%		